

宝塚市政記者クラブ各位

まちの課題を「私たち事」として一緒に考えるため

財政見通しの公表と、経営方針に関する意見募集を行います

財政に関する諸課題を市民の皆さまと共有するため、新規・拡充事業など政策的経費を含めた 6 月補正予算（肉付け予算）を踏まえた今後 10 年間の財政見通しを作成しました。

また、市民の皆さまが日々の暮らしに豊かさを実感できる価値を創造し、総合計画を着実に推進するための宝塚市行財政経営方針について、本方針（改訂案）策定の趣旨や内容などを広く公表し、市民の意見を反映するため、パブリック・コメント（意見募集）を行います。

1 財政見通し

別紙のとおり

※ 財政見通しは、毎年度当初予算の編成後（市長選挙時は 6 月補正予算編成後）に 10 年間の収支を予測し、作成しています。

※ 令和 7 年 2 月には、令和 6 年 3 月財政見通し作成後に新病院建設地の決定と新病院建設のために多額のご寄附をいただいたこと、物価高騰に伴い新ごみ処理施設整備事業費増という市の財政状況に大きな影響を与える事象があったことから、それらを踏まえた財政シミュレーションを作成しています。

2 宝塚市行財政経営方針（改訂案）

（1）概要

「第 6 次宝塚市総合計画」の着実な推進に向け、令和 3 年 7 月に「宝塚市行財政経営方針」を策定し、財政、組織、デジタル・データの各基盤強化などにより、時代にふさわしい行財政経営に取り組んでいます。これまでの成果や課題を踏まえつつ、社会経済の構造変化や自然災害への備えなど、これまでの発想や手法にとらわれない行財政経営への転換が急務となっています。

そのため、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、行財政経営の仕組みや業務の進め方を変革するとともに、市民や企業、大学など多様な主体との協働・共創を一層強化し、誰もが活躍できる環境づくりを進めることで、多くの人々が住みやすい、住み続けたい、関わりたいと感じられる価値を共に創造し、市民が日々の暮らしに豊かさを実感できるまちの実現を目指し、本方針を改訂します。

(2) 改訂の経緯

市の部長級以上の職員で構成する宝塚市行財政経営戦略本部（本部長：市長）において、令和 6 年度に財政、組織、デジタル・データの各基盤強化の 3 年を踏まえた総括を行いました。また、これまでの成果や課題を踏まえつつ、この方針の対象期間となる 10 年間の中間年に当たる令和 7 年度に審議を実施し、改訂版（案）を策定したものです。

(3) 募集期間

7 月 1 日(火)～31 日(木)

(4) 本方針（改訂案）と意見提出用紙の配布場所

業務改革推進課、市民相談課、各サービスセンター・サービスステーション、各公民館などで配布のほか、市ホームページで公開
(7 月 1 日（火）から公開)



<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/shisei/gyozaisei/1010331/1060444.html>

(5) 意見の提出方法

「意見提出用紙」に必要事項と意見を記載し、業務改革推進課へ持参・郵送・ファクス・電子メールのいずれかの方法により提出、または電子申請フォームによる提出。

3 問い合わせ先

財政見直しについては、

財政課 TEL：0797-77-2022（直通）担当：堀田^{ほった}

宝塚市行財政経営方針（改訂案）については、

業務改革推進課 TEL：0797-77-4571（直通）担当：田外^{たがい}

